

# 第10期(平成21年5月期) 第4四半期決算説明資料



日本ERI株式会社  
証券コード：2419



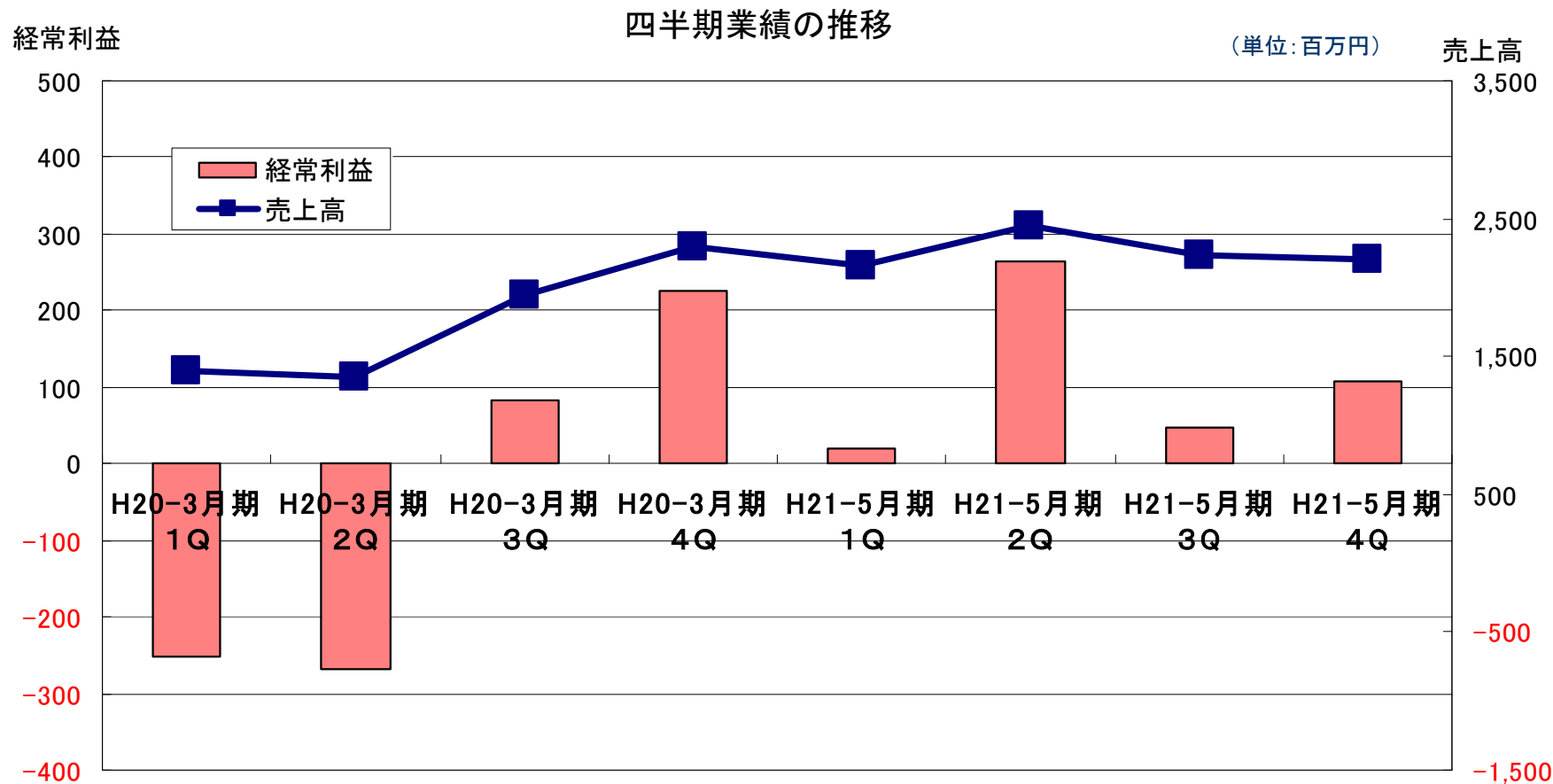
## 第4四半期サマリー

- ◆ <景気悪化> 確認新規受注の大幅減から、法改正後初の減収減益に。
- ◆ 年度末効果（検査業務集中）により6四半期連続で利益確保。
- ◆ <政策動向> 耐震判定、瑕疵保険検査が著増。長期優良住宅の技術的審査と併せ、今後の収益貢献を見込む。

※今期は決算期変更により2009年1月～2009年3月を第4四半期会計期間とする。  
本決算は2009年4月、5月を含めた14ヶ月



# 四半期業績の推移





## 経営成績【連結】

(単位:百万円)

	21年5月期 <sup>※1</sup> 第4四半期 (H21/1~H21/3)	20年3月期 第4四半期 (H20/1~H20/3)	対前年 増減額	対前年 増減比率
売上高 (NET <sup>※2</sup> )	2,211 (2,031)	2,297 (2,038)	△86 (△7)	△3.7% (△0.4%)
営業利益	105	224	△119	—
営業利益率	4.7%	9.8 %	—	—
経常利益	108	225	△116	—
経常利益率	4.9%	9.8%	—	—
営業キャッシュフロー	△4	219	△224	—

※1 決算期を3月から5月に変更。これに伴い平成21年5月期は14ヶ月決算となります。

※2 NETはピアチェックが必要な案件の適判手数料を差し引いた金額。(適判手数料は他機関に当社を通じて支払われます)



## 業務別売上高【連結】

(単位:百万円)

	21年5月期※1 第4四半期 (H21/1-H21/3)		20年3月期 第4四半期 (H20/1-H20/3)		対前年 増減額	対前年 増減比率
	金額	比率	金額	比率		
確認検査 (NET※2)	1,420 (1,241)	64.2 %	1,581 (1,324)	68.8 %	△161 (△83)	△10.2% (△6.3%)
住 宅 性能評価	491	22.2 %	474	20.6 %	17	+3.6%
その他	299	13.6 %	242	10.5 %	57	+23.6%
合 計	2,211	100%	2,297	100%	△86	△3.7%

※1 決算期を3月から5月に変更。これに伴い平成21年5月期は14ヶ月決算となります。

※2 NETはピアチェックが必要な案件の適判手数料を差し引いた金額。(適判手数料は他機関に当社を通じて支払われます)



## 主要業務計数

(単位: 件)

	21年5月期 第4四半期 (H21/1-H21/3)	20年3月期 第4四半期 (H20/1-H20/3)	対前年 増減額	対前年 増減比率
確認	8,539	9,082	△543	△6.0 %
完了検査	10,675	9,896	779	+7.9%
戸建住宅 設計評価	3,172	2,790	382	+13.7%
共同住宅 設計評価	3,212	5,347	△2,135	△39.9%



## 第4四半期累計期間サマリー

- ◆ 前期比増収減益
  - 営業CF大幅増加も、大型案件受注大幅減で仕掛勘定が減少、利益幅が縮小
- ◆ 市場の急速な縮小 > 確認シェアの増大
- ◆ 住宅はマンション市場が大幅縮小、回復の目処立たず

※今期は決算期変更により2008年4月～2009年3月を第4四半期累計期間とする。  
本決算は2009年4月、5月を含めた14ヶ月



## 経営成績【連結】

(単位:百万円)

	21年5月期 <sup>※1</sup> 第4四半期累計 (H20/4~H21/3)	20年3月期 累計 (H19/4~H20/3)	対前年 増減額	対前年 増減比率
売上高 (NET <sup>※2</sup> )	9,051 (7,967)	6,994 (6,539)	2,056 (1,428)	+29.4% (+21.8%)
営業利益	425	△221	646	—
営業利益率	4.7%	△ 3.2%	—	—
経常利益	439	△212	651	—
経常利益率	4.9%	△3.0%	—	—
営業キャッシュフロー	585	△134	719	—

※1 決算期を3月から5月に変更。これに伴い平成21年5月期は14ヶ月決算となります。

※2 NETはピアチェックが必要な案件の適判手数料を差し引いた金額。(適判手数料は他機関に当社を通じて支払われます)





## 業務別売上高【連結】

(単位:百万円)

	21年5月期※1 第4四半期累計 (H20/4-H21/3)		20年3月期 累計 (H19/4-H20/3)		対前年 増減額	対前年 増減比率
	金額	比率	金額	比率		
確認検査 (NET※2)	6,219 (5,135)	68.7 %	4,568 (4,113)	65.3 %	1,651 (1,022)	+36.1% (+24.8%)
住宅 性能評価	1,791	19.8 %	1,563	22.3 %	228	+14.6%
その他	1,040	11.5 %	863	12.3 %	177	+20.5%
合計	9,051	100%	6,994	100%	2,056	+29.4%

※1 決算期を3月から5月に変更。これに伴い平成21年5月期は14ヶ月決算となります。

※2 NETはピアチェックが必要な案件の適判手数料を差し引いた金額。(適判手数料は他機関に当社を通じて支払われます)



## 主要業務計数

(単位: 件)

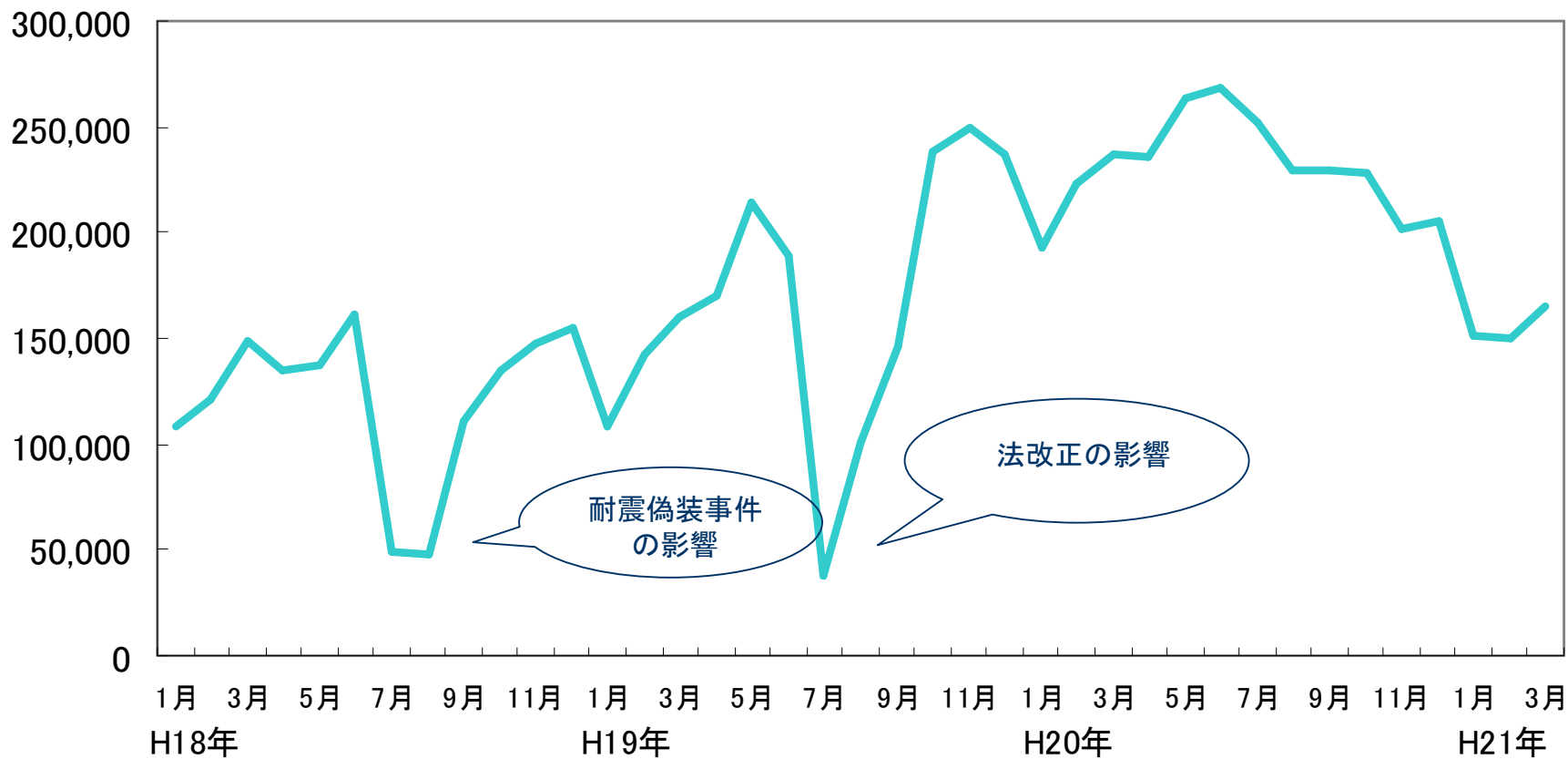
	21年5月期 第4四半期累計 (H20/4-H21/3)	20年3月期 累計 (H19/4-H20/3)	対前年 増減額	対前年 増減比率
確認	40,220	38,779	1,441	+3.7%
完了検査	33,887	31,728	2,159	+6.8%
戸建住宅 設計評価	13,658	11,860	1,798	+15.2%
共同住宅 設計評価	22,702	18,143	4,559	+25.1%



# 確認引受金額推移 (NET)

確認引受金額推移 (NET)

(千円)

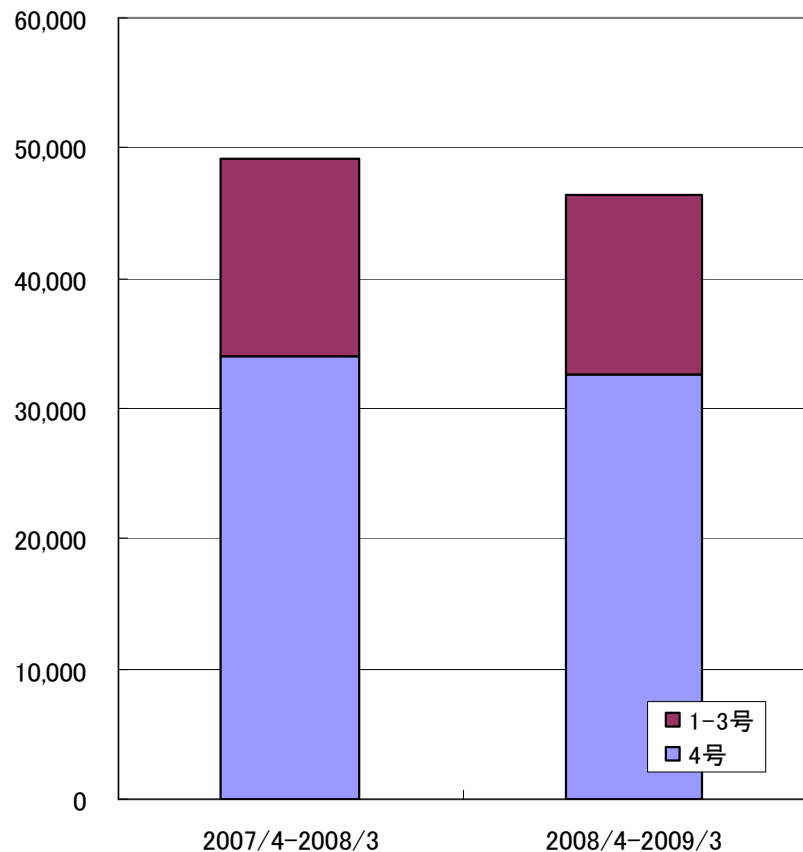




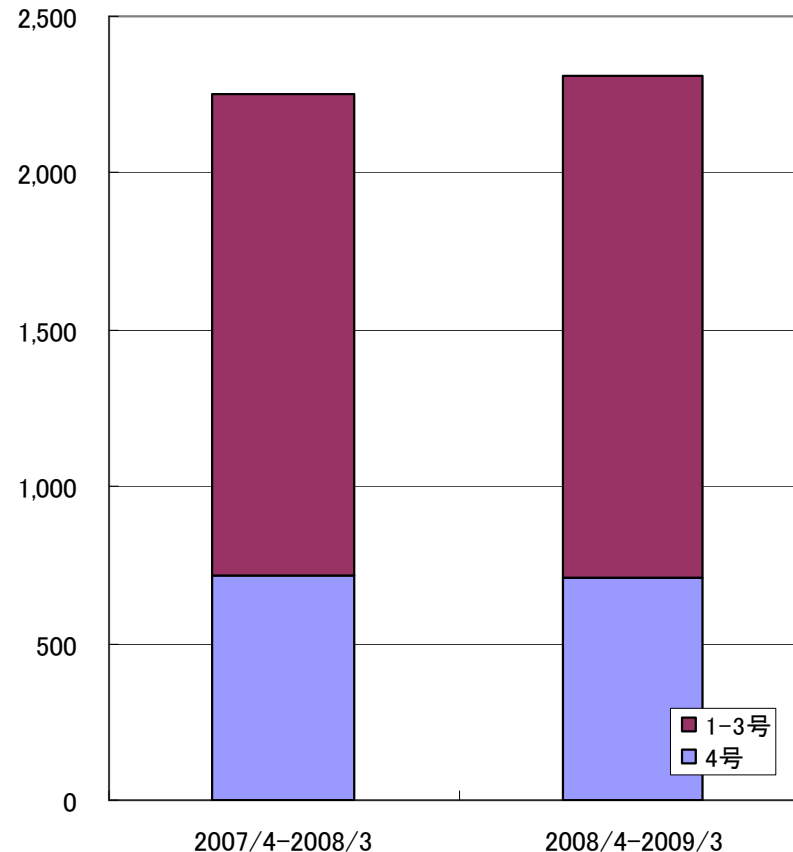
# 確認内訳の全国とERIの比較

※建築物の確認申請件数  
(変更申請を除く)

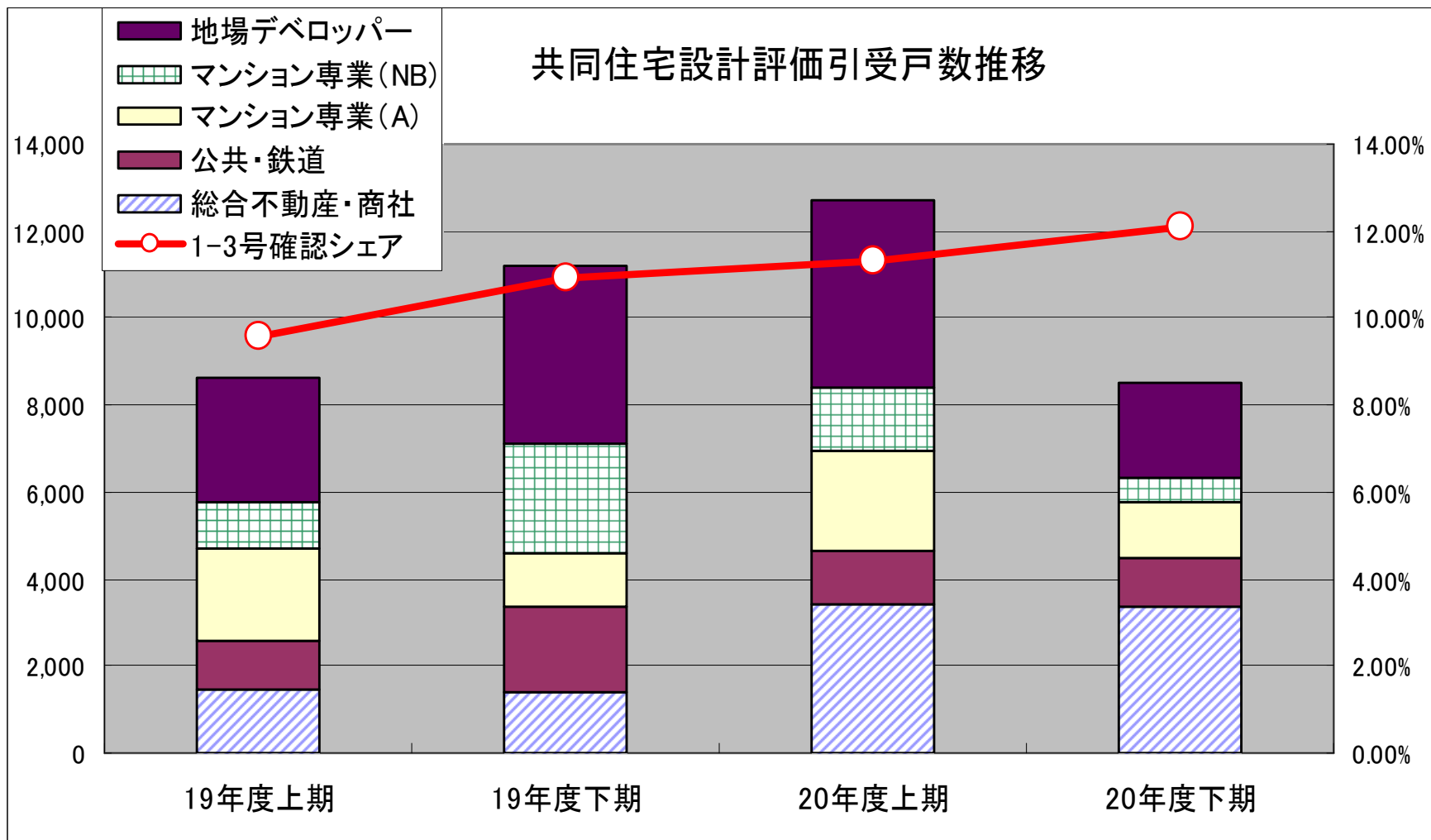
(件/月) 【全国】 確認申請 月平均件数



(件/月) 【ERI】 確認申請 月平均件数



マンション評価受注の状況





## 通期見通しサマリー

- ◆ 大型案件受注減少に底打ち感。  
しかし、需要回復の見通し立たず。
- ◆ 戸建住宅案件のシェア拡大で業績の安定化図る。
- ◆ 長期優良住宅の技術的審査業務、瑕疵保険検査の受注増大に注力し、減収幅の縮小図る。耐震判定業務も収益貢献見込む。